



夢をもち 自ら動き たくましく生活する児童の育成

校長だより(保護者の皆様)



呉市立音戸小学校 校長 中舛 智子 令和8年6月29日 第3号

本物に触れ、地域に学ぶ～6月の豊かな体験活動～

先週末の豪雨による2日間の連続休校の際は、急な自宅待機や家庭学習、安全な見守りへの多大なるご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

幸い本校区では大きな被害がなく安堵しておりますが、全国の災害状況を見ましても、決して他人事ではありません。今後も地域と連携し、防災意識を高くもって参ります。

今月は多くの地域の方のご協力のもと、学校だけでは得られない豊かな学びを展開することができました。

今年初めて実施した活動や、久しぶりに再開できた活動など、今回はその一部になりますが、活動の様子と子供たちの学ぶ姿をご紹介します。

食と生命を学ぶ



地域の方のご厚意で、約10年ぶりに「わいわい村」で5年生が田植え体験とバケツ稲作りをさせていただきました。また、南隠渡自治会長大上様から、実体験を交えての米作りの1年を教わりました。児童の感想「最初は泥に入るのがぬるぬるしてびっくりしたけれど、だんだん楽しくなりました。みんなで一生懸命植えた苗が、元気に育ってほしいです。」「いつも食べているお米が、こんなに大変な作業で作られていることを初めて知りました。これからは感謝して残さず食べたいです。」



地域の歴史と産業を学ぶ



2年生がまちたんけんで音戸高校と榎酒造、法専寺に出かけました。音戸高校では、生徒会の副会長さんや教頭先生、先生方に学校中を優しくガイドしてくださいました。榎酒造では、お酒を作る大きな樽、見たこともない機械をたくさん見せていただきました。大切に麴を育てていることのお話も心に残ったそうです。法専寺では、毛利氏ゆかりの歴史の宝物を見せていただきました。広い本堂では、お経で使う大きいおかねをたたかせてもらう貴重な体験もしたそうです。

「命を守る」を学ぶ



避難訓練も真剣な態度で臨みました

3年生は防災参観日に、呉市消防局西消防署音戸分署の平本様に「火事から身を守ろう」の授業をしていただきました。4年生は西日本豪雨災害の際に本校に勤務されていた戸田先生から、当時の状況や多くの方に支援していただいたことを伺いました。児童の感想「火事の煙は吸い込むとすごく危ないと知りました。もし火事があったら、姿勢を低くして、ハンカチで口をしっかりと押さえて絶対に逃げようと思います。」「当時の写真や先生のお話を聞いて、災害の恐ろしさが本当によく分かりました。いつ大雨が降っても慌てないように、家族とも避難の仕方を話し合いたいです。」

他にも、1年生はなぎさ音戸保育園のとの交流会、5年生には、家庭科の裁縫サポートに中本様、呉市消防局による救急蘇生法の学習、6年生には花岡様による租税教室、また岡田様を招聘して太鼓の練習も始まりました。地域の方をご講師とした卓球クラブも大好評です。

音戸町は素晴らしい「ひと・もの・こと」に恵まれた地域であると、改めて深く実感しております。地域に学ぶ子供たちの生き生きとした姿があふれた1ヶ月でした。皆様、今後ともご支援をよろしくお願いいたします。



初めての手縫いを丁寧に教えてくださいます

熱戦！第22回PTA連合会ソフトバレーボール大会



昨日6月28日(日)にオークアリーナで開催された市PTA連合ソフトバレーボール大会に本校から「みんな元気もりもりもりもり音戸きよもりーず」9名が出場しました。

試合は、素晴らしいチームプレーと、誰もがボールに必死で食らいつく気迫あふれる接戦の連続でした。コートと応援席が一体となって熱い声援を送り合い、保護者の皆様と教員が笑顔で言葉を交わす大変有意義な交流の機会となりました。

大会に先駆けて学校で行った練習会にも、例年以上に多くの皆様にご参加いただきました。皆様が和気あいあいとプレーされる温かいお姿を拝見し、校長として大変嬉しく、心強く思いました。選手の皆様、応援や練習に駆けつけてくださった皆様、本当にありがとうございました。

